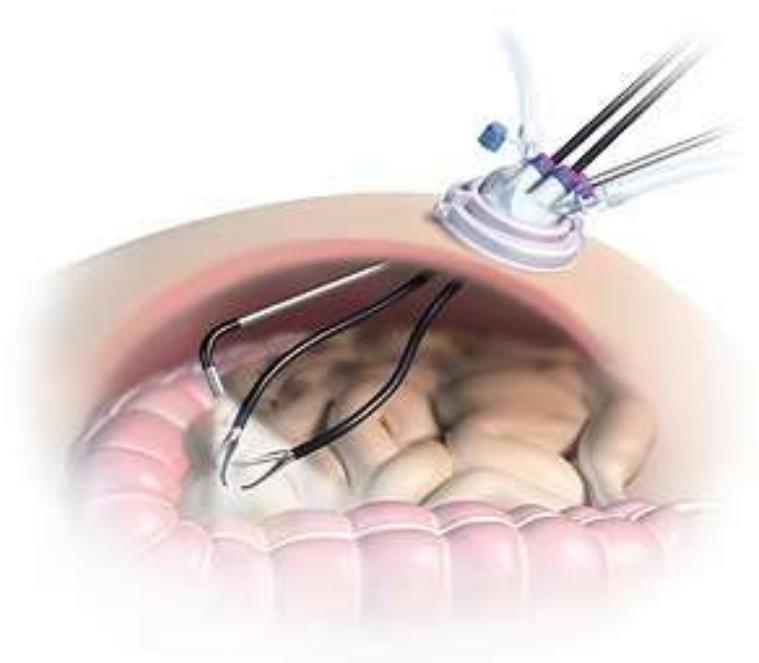


単孔式腹腔鏡下手術

宇都宮第一病院

TEL 0286655111



傷はおへそのみ

胆石症や胆嚢炎でお悩みの方へ

きれいで安全で痛みの少ない手術を提供します。昭和大学消化器外科学教室出身の熟練外科医である院長、獨協医科大学肝胆膵外科の消化器外科認定医、ペインクリニックに精通した麻酔科医、経験豊富な手術室スタッフにて最良の医療を施行しております。大学病院を含めた、他院での手術は4つの穴を用いた方法が主流です。宇都宮第一病院では傷口が圧倒的に小さく少ないことが特徴です。当然、痛みも激減します。

胆石症手術 傷はひとつだけ

宇都宮第一病院 外科

宇都宮第一病院 外科では、2021年12月よりオリンパス社製の最新腹腔鏡手術システムを導入し症例を積んでおります。

従来の腹腔鏡下胆嚢摘出術と比較して、より傷の少ない術式である単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術を導入しております。

最新式の超音波検査とCT, MRI 検査を経て、症例検討を行ったうえで、昭和大学消化器外科学教室出身の熟練外科医である院長先生と、獨協医科大学肝胆膵外科の消化器外科認定医、ペインクリニック認定医の麻酔科医による術後疼痛の軽減に取り組んでおります。

最新腹腔鏡手術システム導入

単孔式腹腔鏡下手術

胆嚢結石症の治療法には内科的治療と外科的治療があります。このうち、外科的治療はいわゆる胆嚢摘出術ですが、胆嚢摘出術には開腹手術と腹腔鏡下手術の2種類があります。腹腔鏡下胆嚢摘出術は日本では1990年代より導入されていますが、お腹のなかに二酸化炭素ガスをいれることでお腹を膨らませて、内視鏡と手術器具を小さな穴から入れて、モニターを見ながら胆嚢の摘出を行う術式です。

開腹手術では15cm程度の傷ができますが、腹腔鏡下手術では1cm程度の4か所の小さな穴で手術が可能です。傷が小さいことで、痛みも少なく傷が目立たなくなることが特徴です。このため、術後の回復も早く、退院も早期にできるというメリットがあります。

この腹腔鏡下胆嚢摘出術は現在では胆嚢摘出術における標準術式となっていますが、最近はさらに傷の少ない手術が行われるようになりました。この手術はおへそを縦に切開して、この1か所の傷から数本の手術器具を入れることで手術を行うやり方で単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術と呼ばれています。

従来の手術よりやや難しい手術ですが、手術後は傷がおへそのなかに隠れてしまい傷がほとんど目立たなくなるという利点があります。もちろん手術を安全に行うため、補助的に穴を追加することもあります。従来腹腔鏡下胆嚢摘出術より傷が少なくなることが特徴です。



手術のキズがわかりません！



手術後1年目

地域の皆様、一度宇都宮第一病院にご相談ください。お気軽にお問い合わせください。

TEL0286655111

宇都宮第一病院